

令和2年度熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
「第5回理事会」「県内クラブ交流大会第3回実行委員会」議事内容

日時	令和2年11月6日(金)午後1時30分～午後3時
場所	オンライン(LINEテレビ電話)
出席者	水野、齋藤、桐原、廣田、橋垣、甲斐、福永、宮崎、大山、永嶋、原(理事11人) 嶽本(プロジェクトスタッフ1人) 永田、太田黒(事務局2人)
会 議 内 容	
1	開 会
2	あいさつ 挨拶：水野会長
3	議長選出 議長：水野会長
4	報 告
	(1) SC全国ネットワーク「令和2年度第2回常任幹事会」について(資料P2～3) ・齋藤理事長から、常任幹事会に係る報告。 ・ブロック別ネットワークアクション2020代替えについて、12月21日(月)にオンラインで開催される予定となっている旨報告。しかしながら、クラブ関係者等が一斉に参加ということではなく、代表委員等のみの参加となることが考えられる旨説明。
	(2) オンラインセミナーの開催について(P4) ・10月14日に開催したオンラインセミナーについてアンケート内容を報告。 ・今後のセミナーについてもオンラインを取り入れて実施する旨説明。
5	議 事
	(1) 今後のオンラインセミナーの開催について(資料P5) ・齋藤理事長から、常任委員会での協議の結果、11月から2月までにオンラインセミナーを開催してはどうかとの提案。 ・セミナーの内容については、県内の公認クラブマネジャーの方々への聞き取り並びに、10月15日のオンラインセミナー参加者からのアンケート等から設定する旨説明。 —協議の結果— ・異議なし。
	(2) 豪雨災害に関する支援金について(資料P6) ・徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会から、10月23日に豪雨災害に関する支援金17万円の送金があった旨報告。 ・支援金の使途について、常任委員会で協議した結果、本協議会から3万補填して、被災クラブへの送金を提案。(協議会加入クラブであるカルヴァーリョ・ラッソ人吉とさかもと未来クラブには8万円ずつ、協議会非加入クラブには2万円ずつ) —協議の結果— ・異議なし。
6	実行委員会
	(1) 県内クラブ交流事業の実施及び被災地支援について(資料P7～10) ・齋藤理事長から今年度の県内クラブ交流事業について、常任委員会で協議した結果、被災地支援を交流事業として実施する旨提案。 ・財源、実施方法・スケジュール・実施内容について説明。 —協議の結果— ・異議なし。

- ・今後、ブロック毎に取りまとめいただき、12月6日の実施を目指す旨共通理解。
- (2) 総合型クラブの啓発について (資料P10)
- ・齋藤理事長から、被災地支援事業の実施の際に、総合型クラブの啓発のためにも、スタッフビブスの購入をしてはどうか提案。
 - ・当日のスタッフ弁当は、被災地の仕出し屋等に依頼し、被災地に金銭的にも支援が行く形を提案。
- 協議の結果—
- ・異議なし。
- 7 その他
- (1) イトメン冬期の販売について (資料P11~14)
- ・イトメン冬期の販売開始の旨説明。
- 意見—
- ・収益について、法人格を有するクラブの取扱を考慮した支払い方法があってもよいのではないかなど意見が出たため、次年度に向けては再協議が必要。
- (2) 「持続可能な総合型クラブの推進に向けた指針と評価指標」を用いた自己点検・評価の実施について (資料P15~23)
- ・例年同様、本協議会加入クラブ宛て周知した旨説明。
- (3) しょうがいスポーツリンケージくまもと「オンライン視察」について
- ・11月4日(水)に実施された旨報告。
 - ・今後も障がい者スポーツの推進について情報共有する旨説明。

8 閉会

